



「目指せ！日本の田舎町再生のお手本づくり！！」

～コミュニティビジネスとふるさと教育を連動させ、新たな手法で
地域の元気再生とホスピタリティ世界一を理念に
“人生を賭けて”取り組む、まちづくり会社の事例！～

平成25年7月3日(水)
プロジェクトおおわに事業協同組合
副理事長 相馬 康穂

大鰐町の概要



◆人口

男 5,036人 女 5,891人

計 10,927人 (平成25年5月末現在)

◆世帯数

4,203世帯 (平成25年5月末現在)



大鰐温泉スキー場



開湯800年の大鰐温泉



大鰐りんご



大鰐温泉もやし



茶臼山のつつじ



巨岩「石の塔」

Copyright(C)2010プロジェクトおおわに事業協同組合ALL RIGHT RESERVED.



大円寺



百年食堂の「津軽そば」

大鰐町の現状



- 平成のリゾート開発の失敗
町の損失補填額 63億円
20年続く毎年3億円の返済
連結赤字比率 31.2%
- 観光客数の減少
平成3年:93万人
→平成16年:37万人
- 人口減少と高齢化
人口減少率 26.9%
(青森県過疎地平均 23.1%)
高齢化率 30.1%
(青森県過疎地平均28.6%)

平成21年秋

財政早期健全化団体に青森県で最初に指定

民間町おこしグループ「OH!!鰐 元気隊」の 発足



大鰐町の良いものを再発見し、

わが大鰐町を希望ある元気な町にする

- 平成19年8月設立
- 会員数 130名
- コアメンバー 16名

OH!!鰐 元気隊の取組

- 設立記念フォーラム「がんばるべし大鰐！」
 - 参加者170名
 - 記念講演：JTB(株)常務取締役 清水慎一氏
- 町民対象ワークショップ3回実施
 - 大鰐町を元気にするアクションプランを検討



OH!!鰐 元気隊の取組

・アクションプラン策定

希望ある元気な大鰐町を作ろう！

I. 地域の資源まるごと活用プロジェクト

- (1) 食&農活用AP
- (2) 温泉&街かど活用AP
- (3) 歴史&文化活用AP
- (4) 山&川活用AP

II. みんなが楽しいふるさとづくりプロジェクト

- (1) マップ作成AP
- (2) 体験モデルツアーAP
- (3) 拠点づくりAP
- (4) 交流&定住推進AP

III. みんなが一緒にがんばるべしプロジェクト

- (1) “参加と協働”推進AP
- (2) 元気隊キッズAP
- (3) 地域をあげたおもてなしAP
- (4) おおわにイメージアップAP

OH!!鰐 元気隊の取組

- パートナーシップで進める

 - 大鰐活性化のための意見交換会の実施

 - 町内各団体・町・県などに結成目的と取組を説明

- おおわに活性化フォーラムの開催

 - OH!!鰐 元気隊キッズによるアイデア発表 等



OH！！鰐 元気隊キッズの取組2

大鰐農産物首都圏販売体験

あおもり北彩館東京店にて



首都圏販売体験交流会

「あえん」にて



平成20年度 内閣府「地方の元気再生事業」

平成20年度の内閣府「地方の元気再生事業」に採択(事業主体:NPO推進青森会議)

パートナーシップで進める“小さな希望”創出育成事業

パートナーシップで進める“小さな希望”創出育成事業(青森県大鰐町)

財政破綻寸前の大鰐町において、地域で頑張る住民団体、NPOが連携し、大鰐温泉もやしのプレミアム化、地域交流センター「鰐come」の活性化、首都圏の大鰐出身者を中心とする大鰐応援ファンクラブの立ち上げ等、地域全体が目標と希望を持って協働・連携し、行政に頼り切らないパートナーシップ型地域経営を推進する。



希少価値の高い
大鰐温泉もやし



大鰐町地域交流センター
鰐come(わにかむ)

平成20年度の主な取組

- ① 大鰐温泉もやしの首都圏への売り込み、鰐comeを拠点とした農商工連携・観光振興策の実施。
- ② 首都圏を中心に応援ファンクラブの立ち上げ、修学旅行誘致に向けた体験プログラム開発。
- ③ 住民主導によるコミュニティバスやオンデマンドタクシーなどの地域公共交通の再構築に向けた利用実態の把握・分析と実証実験の実施。

平成21年度以降の展開

観光振興、産業振興、地域公共交通の再構築を進め、「ネットワークの構築 → 事業実施による雇用・人口の増加 → 地域住民の満足度向上」という好循環を確立し、「自ら稼げる地域」、「ローコストでの公共サービスの提供」、「パートナーシップ型地域経営の推進」を実現する。

各団体との連携

大鰐町および大鰐町各団体



連携



連携

OH!!鰐元気隊

実働

協働・事業実施

NPO推進青森会議

(現在は青森コミュニティビジネス研究所)

支援・コーディネート

アドバイス

依頼

民間の専門家・アドバイザー

公的機関(青森県・青森公立大学等)

「鯨come」指定管理者募集



- 平成16年12月オープン
- 町営施設
- 総工費 17億円
- 温浴施設・物販施設
飲食施設・多目的ホール
- 年間入込数
平成16年:20万人
→平成19年:18万3千人

平成20年11月

指定管理委託料0を議会で決定→指定管理者募集へ

「鰐come」指定管理者募集



- 観光振興における交流拠点に
- 農商工連携の発信に
- 地元住民の交流拠点に

OH!!鰐 元気隊で応募

鰐comeから町内へ

人が流れる仕組みを作り

町のみんなが儲けられるように



地元の元気は地元の手で作る!

元気隊有志によるまちおこし会社の設立へ

町外の人間にはまかせたくない

1事業者の利益追求の道具になるのは嫌

大鰐町の再生の“小さな希望”が失われてしまう

指定管理の受託と将来を見据えた

会社組織を立ち上げ

事業協同組合の設立

プロジェクトおおわに 事業協同組合

対外的に信用力のある事業協同組合を設立し、町の公共施設の指定管理の申請をし、そこを活動拠点として他団体との連携とより一層の町の活性化事業の充実を図り、あわせて組合員の経済的地位の向上を目指す。

- 設立年月日：平成21年2月24日
- 発起人 5名
- 出資者 14名（平成24年10月末現在：出資者14名）
- 出資総額 320万円（平成22年6月340万円に増額）
（平成24年9月370万円に増額）

プロジェクトおおわに事業協同組合事業 概要

- **共同販売事業** 大鰐特産品を首都圏等でPR・販売
- **受託事業** 公共施設の指定管理
- **商品開発事業** 組合員の商品を使って新商品の開発・販売

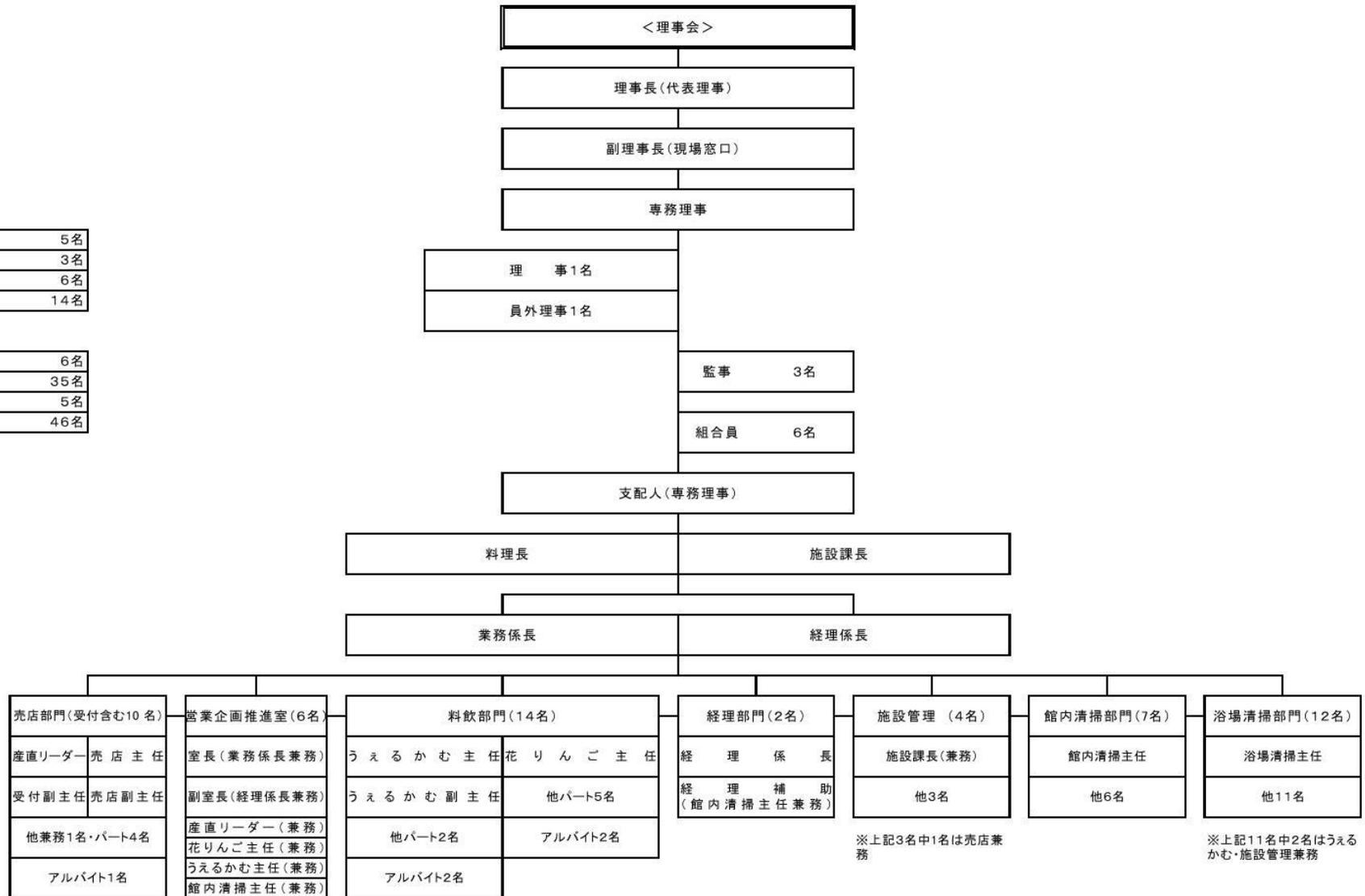


プロジェクトおおわに事業協同組合 組織図

プロジェクトおおわに事業協同組合 組織図・管理体制

理事数	5名
監事数	3名
組合員	6名
合計	14名

社員数	6名
パート数	35名
アルバイト数	5名
合計人数	46名



プロジェクトおおわに事業協同組合 鰐come経営理念

- 私達は常に「感謝の心」を持ち
サービス世界一の施設を目指します。
- 私達は常に「満面の笑顔」と「心を込めた接客」で
世界中の皆様を元気にします。
- 私達は常に心地よいおもてなしで
「世界一の癒しの空間」を目指します。
- 私達は常に「地産地消」の精神を持ち安全安心で
健康な食文化を提案します。
- 私達は常に「地域の活性化」を基本精神に持ち
「大鰐ブランド」を世界に発信します。



鰐come 朝礼

- 小学生、中学生企業体験
(大鰐町立大鰐中学校)
- 中小企業家同友会視察
(宮城県)

〈朝礼参加・視察等はオープン〉
誰でも参加できる

鰐comeでは、お客様を出迎える際に
いらっしやいませ！は禁句
言った理事は罰金50円・従業員は10円。
前日売上や当日の予約状況、出来事等報告
館内全体の情報を共有化し、経営理念の唱和
元気の朝礼をおこなっている。



小学1年生の現場聞き取り調査体験 (どんなおしごとをしているのかな～)



大鰐町子供会育成連合会 雪灯籠製作



成果(1)

- 鰐come産直の会の発足

農業者による売店での野菜・果物・加工品の販売

- 事業者により業者協力会「鰐の会」発足

イベント時の協力

自主イベント開催

- 入浴ヘビーユーザーによる「鰐come友の会」発足



成果(2)

- 大鰐地域力向上推進協議会との
共同販売の連携
- 鰐come祭り時の「大鰐地産品市」実施
- その他、「大鰐温泉サマーフェスティバル」
「ちどりあし祭」
「雪の大食卓会」「森の探検隊」など
町内イベント時に「鰐come入浴券」
プレゼントの実施を行い、地域経済の
活性化を図るための集客



鰐come誘導案内板模様替え

【誘導案内看板】

町内各所から鰐comeへの誘導を看板内に距離を歩数で表した



鯨come祭り 夏 !!

(被災地支援・幼児鼓笛隊発表会・パフォーマンスショー)
(自衛隊広報・警察広報活動、バンドショー、花火など)



まち歩きボランティアガイド



鯨コンパーティー

- 結婚適齢期を向かえた男女のために出会いの場所として、定期的に開催！！

- 本格バーテンダーがオリジナルカクテルの提供と、場の盛り上げに協力していただいている。

鯨come × 大和接骨院コラボ企画

カクテルバー
ご利用しました
フロアバーテンダーの作るカクテルも
お楽しみいただけます♪

鯨コン

わに

～ 鯨come は“縁結び世界一の空間”となるかも?! ～

6.29 (sat) 18:30～20:30

場 所	大鯨町地域交流センター 鯨come 多目的ホール (あじやら)
参 加 費	男性4,000円 女性3,000円(フード&ドリンク付) 参加費は当日頂戴いたします。 ※当日のお取消は100%取消料が発生いたします。
定 員	50名(男女各25名※応募先着順)
年 齢	20代後半～40代後半まで ※既婚者は参加できませんのでご了承ください。
集 合 時 間	18:00より受付開始(開始10分前までにお越し下さい)
参 加 締 切	6月27日(木)(定員になり次第、締め切らせて頂く場合があります)
お 申 込 み	専用申込書、又はメール・お電話にてお申込み下さい。 (氏名・生年月日・住所・連絡先を明記ください)

大鯨町内のお店に二次会場をご用意しております♪
みんなそろって二次会へ“レッツ合コン!!”
※別料金会場費お一人様2000円

ながれ

- ① テーブル3～4人に分けて頂きます(ワンテの席です)
- ② テーブルごとに決められた順番の抽選で、次のテーブルへ(空テーブルへ)
- ③ 抽選の結果、男性のみテーブルを移動し、次のテーブルへ(空テーブルへ)
- ④ 移動の間は、パーティータイム。簡単なお話しもお楽しみください。トクメインの合コンです。お持ち寄り歓迎です。

～ 地域とともに ～
鯨comeは、地域全体の活性化を目的に取り組んでおります。

【お申込み・お問い合わせ先】
大鯨町地域交流センター 鯨come
TEL:0172-49-1126 FAX:0172-47-5166
mail: wanicome@gmail.com

※抽選からご参加の方の抽選結果は抽選当日にお知らせいたします。

万国ホラ吹き大会画像



平成20年度～平成23年度 鯨come売上推移表

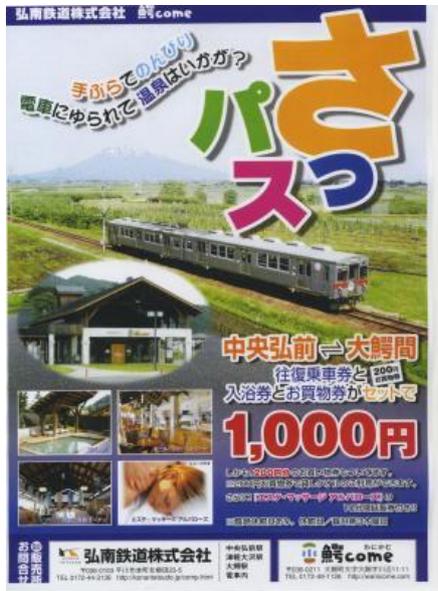
期間:平成20年4月～平成24年3月

(単位:千円)

項目	平成20年度 行政運営	平成21年度 組合運営	前年比	平成22年度 組合運営	前年比	平成23年度 組合運営	前年比	平成20 年度との 対比
温泉施設	52,986	51,814	97.8%	69,903	134.9%	88,425	125.5%	166.9%
飲食施設	17,198	22,283	129.6%	34,824	156.3%	46,426	133.3%	269.9%
物販施設	17,353	40,398	232.8%	53,524	132.5%	65,363	122.1%	376.7%
交流施設	1,192	8,284	695.0%	8,505	102.7%	10,119	119.0%	848.9%
その他	1,470	2,245	152.7%	0	0	0	0	0
合計	90,199	125,024	138.6%	166,756	133.4%	210,333	126.1%	233.2%

- * 平成21年度売上は6月～3月実績(10ヶ月)
- * 平成22年度売上は4月～3月実績(1年間)
- * 平成23年度売上は4月～3月実績(1年間)

周辺地区企業とのコラボレーション商品



弘南・鰐comeきっぷ
「さっパス」 好評発売中！

- ・弘南鉄道大鰐線の往復乗車券
 - ・鰐come入浴券
 - ・鰐comeでのお買い物券200円分
 - ・エステ10分間無料延長券
- が付いてなんと1,000円！
平成21年8月に発売以来、大ロングセラー中



大鰐高原りんご使用はちみつ入りりんご酢
「さっパ酢」

- ・無化学肥料で栽培した「大鰐高原りんご」を使用
- ・静置発酵でまろやかでこくのあるりんご酢
- ・お土産にもぴったりの化粧箱入り
- ・500ml入り 1本 ¥1,365円
- ・平成22年6月12日(土) 発売

県内企業との連携

塩の部屋 いやしんす

三沢市 鈴木建設工業株式会社 開発事業部



【主に効果があると言われている症状例】

- ・花粉症
- ・ぜんそく
- ・アトピー

※上記写真は、首都圏在住の方で1週間

大鰐へ滞在し、塩の部屋「いやしんす」を
体験

地域の宿泊施設にも貢献している

鰐come内開発商品：ファストフードコーナー 「うえるかむ」

・大鰐プレミアムスイーツ「わ」

大鰐温泉名物駄菓子「マカロニドン」と日本で唯一温泉醸造している地元の名産品「マルシチ醤油」の特製ジュレを極上ソフトクリームとコラボレーションさせた、鰐comeオリジナルの「大鰐プレミアムスイーツ」です。



鰐come 発
大鰐プレミアムスイーツ

「わ」
～「マカロニドン」×マルシチ醤油 編～

大鰐名物駄菓子「マカロニドン」（マカロニのボン菓子）にバニラソフトをのせ、温泉醸造で有名な「マルシチ」の醤油を黒糖と合わせたジュレソースをかけた、大鰐を味わうプレミアムスイーツ！

食べてみて！
ハマるおいしさ!!

¥250

ファストフードコーナー うえるかむ

大鰐名物「マカロニドン」 マルシチ醤油の特製ジュレ



鰐come内開発商品：ファストフードコーナー 「うえるかむ」

- さっぱ酢ドリンク（ミルク・ソーダ・ウォーター）



- 地元の洋菓子店が作った、売り切れごめん！大鰐スイーツ



鰐come 内開発商品：お食事処「花りんご」



●大鰐温泉もやし「うまか丼」

大鰐温泉もやしと大鰐産青森シャモロック肉を使用
ピリ辛風味の味付けで、温泉たまごとの相性抜群の丼物
(大鰐町出身：料理研究家 水島優子先生監修)



●大鰐温泉もやしご膳(定食)

- ・大鰐温泉豆もやし酢の物
- ・大鰐温泉豆もやし甘辛炒め
- ・大鰐高原野菜
- ・お刺身三点盛
- ・りんごジェラート
- ・ご飯・味噌汁・お新香

●大鰐温泉もやし蕎麦

大鰐温泉もやしのシャキシャキ感と、大鰐産「青森シャモロック」を堪能できる
ちょっと贅沢なお蕎麦



雇用事業の取組

●大鰐温泉もやし生産者育成事業（平成22年5月～平成24年3月）



机上研修・現場実習を経て、冬から大鰐温泉もやしの生産を開始



大鰐温泉もやしの出荷をコントロールし、「稼げる農業」を作る



「大鰐」の名前が全国へ



その他商品も全国展開へ

●鰐comeブランド創出事業（平成22年7月～平成23年1月）

●農商工連携等人材育成事業（平成22年7月～平成23年2月）

地域団体商標登録に至るまで

平成23年6月8日（水）

特許庁に弁理士を通じて

地域団体商標

「大鰐温泉もやし」出願申請。

その後、再度に亘る手続補足書

追加資料等を提出。

丸一年かかり

平成24年6月8日（金）に

登録認定された。

商標登録証



県知事へ商標登録表敬訪問

地域団体登録後、知事を表敬訪問

大鰐町長 山田 年伸
大鰐町議会議長 成田 孝昭
大鰐町役場 農林課長 前田 克則
大鰐町役場 農林課副参事 竹内 勝治
大鰐温泉もやし組合 山崎光司夫妻
プロジェクトおおわに事業協同組合
理事長 八木橋 孝男
プロジェクトおおわに事業協同組合
副理事長 相馬 康穂

知事室にて記念撮影



大鰐温泉もやしブランド化推進事業

地域総合整備財団（ふるさと財団）

平成24年度 新・地域再生マネージャー事業

大鰐温泉もやしを核とした、地域ブランド化を図り、農業従事者の収入増加、加工品の開発を手がけ雇用創出を目指し、地域力の底上げを行い、活性化を行うための外部専門家人材活用を用いて地域を再生するため商品開発等を推進中。

新商品試作品の一例

「大鰐温泉もやしキムチ」



「最近の地域づくりと地域ブランド化の動き」

講師 青森公立大学 佐々木 俊介氏

出席者

大鰐町役場農林課長	前田 克則
大鰐町役場企画観光課長	工藤 啓一
大鰐町役場農林課副参事	竹内 勝治
大鰐温泉もやし生産者	佐藤 多計志
〃	沢田 博
伊豆川事務所	伊豆川 嘉規
青森CB研究所 代表役員	工藤 弘毅
プロジェクトおおわに事業協同組合	
専務理事	八木橋 綱三
プロジェクトおおわに事業協同組合	
鰐come 業務課長	菊池 隆

国内各地の先進事例を講演



大鰐温泉もやしブランド化推進委員会 立ち上げ

大鰐温泉もやしを核とした、地域農産物や観光資源・文化資源活用まで視野に入れ、地域全体をブランド化するための委員会として発足

(大鰐温泉もやし商標活用協議会との棲み分け)

「大鰐温泉もやし祭り」の実施

大鰐温泉もやし組合・生産者・もやし関係者連携による地域活性化イベントの実施

「山の町大鰐・海の町深浦祭り」の実施

他地域間連携によるイベントの実施

これまでの流れ(平成19年~21年)

平成19年:「仲間づくり」と「意思表示」

- OH!! 鰐 元気隊の結成 →同じ「思い」のある人たちが集まる
- パートナシップテーブルの開催 →邪魔されないように、活動について表明

平成20年夏:ボランティアとしての「まちづくり」スタート

- 講演会・ワークショップなどの自主開催
- 元気隊キッズとの活動開始(植樹・清掃等)

平成20年~21年:内閣府「地方の元気再生事業」の実施

- NACの支援を受け、①観光②農商工連携③公共交通 3つの取組
- 応援ファンクラブ結成、通常のルートとは異なる販路の拡大等実施

平成21年春:「場」の確保→法人化

- 指定管理を受託するために、「有志」により法人化(協同組合設立)
- 経営・雇用・事業内容について詳細決定

平成21年初夏:ビジネスとしての「まちづくり」スタート

- NACの支援を受け、運営開始(専門家による経営サポート)
- 取引の「優先順位」・地域内事業者とのコラボレーション

これまでの流れ（平成22年）

平成22年：農商工連携等人材育成事業の実施（全国中小企業団体中央会）

- ・鰯come産直の会会員、鰯comeスタッフのスキルアップ向上を目的に実施

平成22年：地域共創ビジネス支援事業の実施（ふるさと財団）

- ・鰯comeブランド開発（惣菜パン試作、食事処「花りんご」新メニュー開発の実施）

平成22年：地域人材育成事業の実施（伝統野菜生産者育成）

- ・「大鰯温泉もやし」生産者育成 2名 大鰯温泉もやし組合員指導

これまでの流れ(平成23年～現在)

平成23年：地域人材育成事業の実施(伝統野菜生産者育成)

・大鰐温泉もやし「小八豆」種子作りから生産までの体制づくり確立 大鰐温泉もやし組合員指導

平成23年11月：第1回青森県コミュニティビジネス県知事賞受賞

OH!!鰐 元気隊 第9回オーライニッポン大賞 審査委員会長賞受賞

・OH!!鰐 元気隊キッズの地域農産物作りから首都圏販売実施に至るまでの取組評価

平成24年6月：「大鰐温泉もやし」地域商標登録認可

・土耕栽培と温泉利用による栽培で、他に例を見ない大鰐町の特産品

平成25年2月：地域づくり総務大臣表彰 団体表彰 受賞

課題

- 人材育成 若手の育成(20代～30代)
- OH!!鰐 元気隊とプロジェクトおおわに事業協同組合のすみわけ(ボランティアとビジネス)
- 町政が変わったことによる事業内容の見直し
指定管理は平成24年3月まで(第1期)
指定管理再受託:平成24年4月～平成29年3月まで(第2期)
- 「大鰐温泉もやし」他、地域ブランド管理
ブランド戦略組織の確立
- 自主事業の確立

今後の取組

- 観光と連携した人材の発掘と育成、事業化
JR秋田支社・弘前市との連携
OH!!鰯 元気隊と連動した、ボランティアガイドの養成
- 大鰯温泉もやし等農産物の生産・流通事業
「大鰯温泉もやし」地域商標登録に伴う活用事業の推進
あおもり北彩館等と協働で、「少量多品種」の業者向け発送事業
- 商品開発事業のスピードアップ
地域内の生産物を活用しながら、他に無い魅力あふれる
加工品の商品開発

「まちづくり会社」として持続可能な事業の実施



最後までお聞きいただき
ありがとうございました。

プロジェクトおおわに事業協同組合

〒038-0211 大鰐町大鰐字川辺11-11鰐come内

TEL 0172-49-1126 <いいふろ> / FAX 0172-47-5166

E-mail info@wanicome.com

ホームページ <http://www.wanicome.com>